

皆が笑顔になる「三方良し・未来良し」の社会を実現

地産地消

リサイクル

障がい者支援

株式会社 キョーエイ(すきとく市)

代表者：代表取締役社長 埴渕 一夫
所在地：徳島市川内町加賀須野463番地15
設立：昭和33年7月24日
従業員数：1,903人(平成29年2月現在)
事業内容：総合小売業(スーパーマーケット)
店舗数：48店舗(スーパーマーケット33店舗・専門店15店舗)

○事業・活動の概要

地域密着を軸に、食品の「地産地消」を推進し、食品の安全・安心を心掛け、商品やサービスの高質化に努め、安くて新鮮な食品を提供し続けている。また、地元農家との契約による農産物の直送販売「すきとく市」や、資源ごみを回収する「はっぴいえコプラザ」など、障がい者の就労を支援するNPO団体等と連携した地域貢献活動も積極的に行っている。

○消費者・生産者・事業者の三方良しの「すきとく市」

「すきとく市」はキョーエイと地元農家が協力して地産地消を推進する販売形態である。徳島県内に25の管理団体と、10の集荷場があり、約2,300名の生産者と契約している。生産者は近くの集荷場に農産物を持ち込み、どの店舗でいくらの値段で販売するかを決めることができる。徳島県内の同社各店舗だけでなく、関西圏のスーパーとも提携しており、夕方までに持ち込まれた農作物は、翌朝には店頭並び、その日の閉店までに売れなかった商品は返品、又は廃棄されるため、消費者は毎日新鮮な農作物を手にとることができる。事業者側は場所を提供するだけで、徳島県産の新鮮な農作物を店頭並びに並べることができ、消費者へのPRにもつながっており、同業他社との差別化を図っている。



○地域農業の活性化、障がい者の就労支援

「すきとく市」には、鮮度とおいしさにこだわった地元生産の農産物であれば、規格外のものや少量のものでも出荷でき、選別や包装などの手間の掛かる商品化作業を集荷場に委託することもできる。生産者は畑で収穫した野菜をコンテナに入れ、そのまま集荷場に持ち込むだけで済むため、「すきとく市」の販売形態は高齢化が進む地域農業を支えている。

山川店内の集荷場は、障がい者の就労支援を行うNPO法人が管理しており、17名の障がい者が一般就労に向けて交代で働いている。生産者の要望に添って、持ち込まれた農作物の水洗い・選別・計量・包装などを事業所スタッフ3名のサポートの下で行っており、1か月休日8日、1日6時間の勤務で1人当たり月平均8万円前後の収入となっている。



○他の団体や企業との連携について

その他にも、各NPO団体と協働で資源ごみを回収する社会福祉サービス「はっぴいえコプラザ」を行っている。消費者が買物のついでに各店舗の脇に設置された回収場所に資源ごみを持ち込むと、キョーエイグループで使用できる割引券がもらえるシステムである。その資源ごみを各NPO団体が回収し、売却益は各NPO団体の収益金となる仕組みだ。

また、高齢者など買物に不自由しているの方のための移動スーパー事業も行っている。通販や宅配とは違い対面販売で現物を見て商品を選ぶことのできる移動スーパーは、買物の楽しさを提供し、また、同じ販売スタッフが定期的に訪問することで各地域の高齢者の「見守り役」としての役目も果たしている。

公表日：平成30年6月27日 取材：平成30年2月
外部リンク：<http://www.kyoei-group.co.jp/>

